

第 9 6 1 回

定例教育委員会会議録

日 時 令和 8 年 7 月 2 1 日（火） 1 5 : 0 0 ～

場 所 保健センター 大ホール

益田市教育委員会

第 9 6 1 回 教育委員会定例会

招集年月日 令和 8 年 7 月 2 1 日（火） 1 5 : 0 0 ～

招 集 場 所 保健センター 大ホール

議 事 日 程

第 1 会議録の承認について

第 2 教育長報告

第 3 議題

報第 1 9 号 令和 8 年度公益社団法人全国公民館連合会永年勤続職員表彰被表彰者の決定について

第 4 その他

（ 1 ） 情報提供

（ 2 ） その他

出席者

教育委員会

教	育	長	領	家	芳	明
教	育	員	原	田		笑
教	育	員	山	本	ひと	み
教	育	員	森	脇	達	也
教	育	員	大	谷	孝	司

事務局職員

教	育	部	長	藤	本	美	香
教	育	総	務	課	高	森	雅
教	育	総	務	課	加	田	睦
学	校	教	育	課	田	原	正
学	校	教	育	課	澤	江	健
ひ	と	づ	く	り	堀	江	真
国	ス	ポ	・	全	堀	本	由
文	化	振	興	課	岡	崎	剛
美	都	分	室	長	澄	川	健
匹	見	分	室	長	小	林	武
教	育	総	務	課	植	田	拓
教	育	総	務	課	岡		幸
							恵

領家教育長 定刻になりましたので、ただいまから令和8年度第961回益田市教育委員会定例会を開催いたします。

第1 会議録の承認

領家教育長 会議録の承認についてですが、第959回の会議録について、あらかじめ委員の皆様には先ほど承認いただきましたので、報告させていただきます。

前回の会議録については、作成が遅くなっており承認いただくところまで至っておりません。次回定例会までに前回と今回の会議録を承認いただけるよう進めてまいりますので、申し訳ございませんが、御対応をよろしくお願いいたします。

第2 教育長報告

領家教育長 6月26日から今日までのところで、2点ほど私からお話をさせていただきます。

1点目は、7月8日水曜日の吉田南小学校学校訪問につきましてお知らせをします。前期の教育長訪問ということで、それぞれの学校の授業の様子を見させていただき、今年改正しました教育大綱あるいは教育ビジョンに基づいた学校運営について校長先生方にお話を聞いております。

なぜ吉田南小学校を取り上げるのかというと、吉田南小学校には山本市長と一緒に伺いました。去年、一昨年と、市長には学校の授業がどのように行われているのか、気づきと対話という観点から授業改善の様子を見ていただいています。去年1年間、教育委員の皆さんと一緒に議論し教育大綱の見直しをしていただきましたし、それを基にした教育ビジョンの状況について、実際に校長がどのような思いで学校経営を行っているのかということを併せて市長に見てもらおうと思い今回の学校訪問を計画しました。田原学校教育課長の心中には、このこと以外にも、エアコンの設置されていない教室も見えていただきながら、学校が暑い中でも頑張っていることも併せて見ていただくという秘めた思いもあったようです。

吉田南小学校は1年生から6年生まで1クラスずつと特別支援学級が何クラスかあります。特別支援学級はその日たまたま、暑い暑いエアコンのない家庭科室でそうめんを作っていました。そうめんの具材のネギを一生懸命切っている子や、地域の方と一緒に頑張ってそうめんをゆでている子、そうめんの中の具をどのようなものに

しょうか相談している子など、それぞれ手分けしながら作業している様子を市長に見ていただきました。地域の方、支援員の方、子どもたち、それぞれが役割を果たしてそうめんを作り、暑い中全部の戸を開け広げて汗かきながら調理している様子は、とてもほほ笑ましく見えました。

1年生から6年生については、生活科・国語・算数・社会・道徳と様々な授業の様子を見させていただきました。吉田南小学校はご承知のように少し変わった造りをしており、廊下も教室と同じ幅がございます。そのような環境も市長に見ていただき、新しく4月から更新されたタブレットを活用している様子なども見ていただきました。

市長と授業訪問の感想をお話ししたところ、各学級の子どもたちの様子がすごくほほ笑ましく、吉田南小学校の成長を感じたと仰っていました。1年生の生活科の授業を見ていて、次の生活科の授業で何をして遊ぼうかという議論を子どもたちがしていたのですが、自分のやりたいことを友達に向かって一生懸命にしゃべっている様子を、担任の先生は子どもたちの机の横のところにまで行きしゃがんでしっかり話を聞いておられました。その姿を見られた市長は、「あのよう担任の先生が話を聞いてくれると、一生懸命話している子どもたちはもちろん、話を聞いている他の子どもたちも自分に言ってもらえているような気持ちになるだろう。」と、小学校の先生は色々な工夫しておられると感じたと仰っていました。

5年生の道徳の授業ではSNSを使った話をしていたのですが、市長は「どうしても教材というのは全国的なベースの話が多く、どこまで益田の子どもたちがそれについて理解したのかについて疑問に感じたので、また子どもたちや学校の先生方に聞いてみてください。」とも仰ったり、研究授業ではない学校の様子を見てすごく興味を持ってくださり、小さな学校の工夫に沢山気づいてくださったり、あるいは教室の中の掲示物を見て字が丁寧に書いてあるクラスを見つけてくださったりと、様々なことを市長は見てくださりました。

授業訪問後は校長先生から学校経営の話をしていただいたのですが、つながりやひろがりといったキーワードにかけながら学校経営を行っておられ、吉田南小学校は「自己有用感にあふれて絆を深めていく子ども」という目標を今年一番大切にしており、子どもたちの自己有用感を形成することを大切にしているという話をしてくださいました。環境づくりも自己有用感になること、授業づくりの気づきや対話も、一人一人お互いに認め合うことが、その人が大切

な存在であるということになること、いじめの未然防止なども、全てキーワードとして「自己有用感」を基に学校経営をしている。それが益田の子どもたちのつながりということにとって大切になってくるのではないだろうか。そのつながりを大切にすることが、次の学年に上がるときにひろがりになっていくと思い、その考えのもと学校経営をしているというお話をしてくださいました。その話を受けて市長は、つながりやひろがりというキーワードをそのまま使うのではなく、学校教育目標に落とし込み、それがきちんとマッチして学校経営を行っていることをすごく頼もしく思い、先生方にもこの2つのキーワードがそれぞれの形で伝わっていくのだと思ったとお話してくださいました。

吉田南小学校の学校訪問後の政策調整会議で、自分が訪問した様子、それから教育大綱の反映状況と併せて、今回の訪問を嬉しく感じたことを職員に伝えていただきましたので、学校訪問が意味のある時間になったのだと感じました。

2点目は、7月13日ふるさとひとつなぎコーディネーター会議に1年ぶりに参加してきました。この会議は、コミュニティ・スクールと社会教育主事の皆さんが毎月1回連絡会議を行っています。当日は前月の振り返りをして、テーマを持って様々な意見交換を行いました。私は、昨年早稲田大学を卒業し今年初めて益田小学校のコーディネーターになった伊藤さんと、去年からコミュニティ・スクールになった桂平小学校2年目のコーディネーターの岩坂さん、この2人と話をしました。

伊藤さんは今年初めて益田に来て、様々な取り組みをやっている最中の振り返りとして、6年生の総合的な学習の時間に日本遺産関係で地域の歴史遺産について総合学習のコーディネートをし、観光ボランティアの人に協力してもらいながら、益田の歴史を再発見する取り組みをしたと報告をしてくれました。伊藤さんに「今回授業をコーディネートしたことは楽しかったですか」と聞いたところ、楽しさもありましたが、プレッシャーの方があって勉強することが今は中心になっていると言われました。伊藤さんが楽しんでコーディネートしてくれることが子どもたちの学びに向かう姿にもつながるし、外部から来てくださった方たちにあなたの一生懸命さが伝わるのがまたいいコーディネートにつながるのではないかとアドバイスをしたところでした。

岩坂さんは2年目なので、今年からは挑戦的な取り組みを沢山行っていました。大阪や東京の高校生を二条地区に連れてきて、何日間かの研修を行ったり、二条公民館職員の皆さんと一緒に京都な

どを訪問して、その訪問報告会を今週土曜日に二条で行うとのこと
です。二条地区での活動自体が大阪や東京、京都などでの活動とつ
ながっていることを公民館職員内で理解したこと、また、活動を通
して色々な地域から素敵なことを見つけてきてそれを真似できると
いいですねということを話しました。公民館職員の皆さんと話をし
たり、学校の先生と話をしているときに、二条地区での取り組みが
一つの話題になるのは素敵なことですねという話もしました。

お二人との話の後は、4つの学校のプレゼンを聞きながら、み
んなでこのような取り組みができるといいなということを見つける
ことを行いました。僕からは、どうしたら皆さんのような素敵な人
が益田に来てくれるのか、皆さんだったらどう思いますかとお聞き
しましたところ、「夏フェスやイベントで益田に来てもらって出会
いをつくることも大事ですが、大学のゼミなどで益田に興味を持っ
ている人たちのところへ自分たちが行き、そこで自分たちの活動内
容などを話したりすると、より学生さんたちが益田に興味を持って
くれて益田を訪れるのではないか。益田を訪れたら、早稲田の伊藤
さんのように大学3回生で益田に来て、4回生でもまた来たくなっ
て益田に来て、結果ふるさとひとつなぎコーディネーターをやっ
てくれるようなことにつながるのではないのでしょうか。」という話を
聞き、ひとつづくり推進課の職員と色々とアプローチしてみようか
という話になりました。

そのような1か月を過ごしましたので、御報告をさせていただきます。

続いて、7月にいただいた寄附・寄贈について御紹介をさせて
いただきます。

まず1点目は、日本公衆電話会様から、小学校5年生全員に対し
て「こども手帳」を619冊いただきました。これは社会のルール
や、交通安全、SNSの関わり方などについて、家族で見たり、夏
休みの事前指導として教室で使ってほしいと毎年いただいでいま
す。継続して7、8年になるのですが、益田市にずっといただいで
いるものですので大切に使っていききたいと、日本公衆電話会様には
お話をさせていただきました。

国際ソロプチミスト益田さんからは、今年も市立図書館に英語、
オールイングリッシュの絵本等々を13冊いただきました。こちら
の寄贈は10年以上も続いている取り組みですので、今年も感謝の
気持ちとともに、寄贈された絵本等がどのように使われているのか
という様子もお話をしました。

今年は島根県全体での取り組みとお聞きしましたが、益田市遺族

会から「みんなで学ぶ戦中・戦後の暮らし」という本を市内小学校15校と市立図書館に1冊、計16冊いただきました。こちらは各学校の図書館に配架してあるそうです。

そして、溝口桃之助さん、宮本一成さん、東京益田会の会長を経験されたお二人から、日本遺産登録から5年経ち、本当に一生懸命日本遺産のことをアピールしてもらっているので益田市に寄附をしたいということで、かなり高額な寄附をいただきました。日本遺産推進・活用のために使ってくれると嬉しいということでいただきましたので、併せて御紹介をさせていただきます。

第3 議題

報第19号

令和8年度公益社団法人全国公民館連合会永年勤続職員表彰被表彰者の決定について

領家教育長

議事日程第3、議題に移ります。

本日は、報告案件が1件となっています。

それでは、報第19号公益社団法人全国公民館連合会永年勤続職員表彰被表彰者の決定について事務局より説明を求めます。

堀江課長

令和8年度公益社団法人全国公民館連合会永年勤続職員表彰被表彰者の決定について御報告をさせていただきます。

こちらにつきましては、永年勤続職員の表彰としまして、公民館職員として通算15年以上勤め、他の模範となり得る活動したと認められる者が対象になります。益田市から、永年勤続被表彰者ということで5名の推薦をさせていただきました。この5名、皆さん被表彰者として決定したということで報告を受けましたので、このたび報告をさせていただきます。

表彰式についてですが、10月15日松江のくにびきメッセで全国公民館研究集会島根県大会、また中国・四国地区公民館研究集会島根大会において表彰を予定されております。この5名の皆さんは、10月15日に全員参加されるということで確認をしております。

領家教育長

ただいま説明した件についてご質問等あればお願いいたします。

教育委員

＝全員了承＝

領家教育長

では、この件は閉じさせていただきます。

それでは、本日予定していました議事全てが終了いたしました。これをもちまして第961回益田市教育委員会定例会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。お疲れ様でした。

=終了時間 1 5 時 3 0 分=